

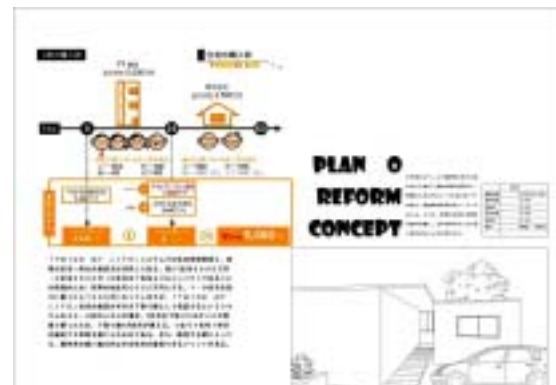
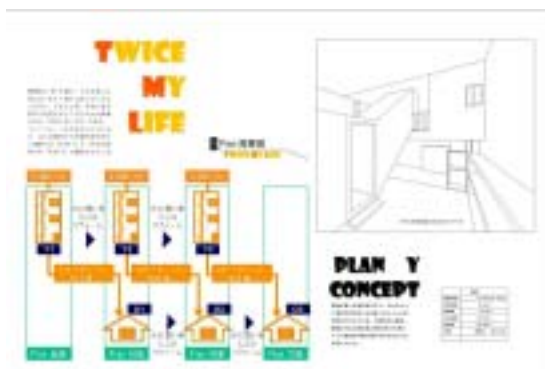
「TWICE MY LIFE」～2戸一括購入型住宅取得プログラム～ 奨励賞



明海大学 不動産学部 不動産学科環境デザインコース

笠間 洋平

より積極的に住宅を楽しむためには、若い時には「個性的な家」、子供の独立後は「夫婦二人のシンプルな生活を楽しむ家」といった具合に、ライフステージに合わせて簡単に住み替えられる事が1番の理想であろう。そこでライフステージを大まかに二区分に分け、通常の住宅の平均的な値段で住宅を最初から2戸購入するプログラムを提案する。住み替えサイクルを25年とし、建築家の手による、若い人向けY住宅と60歳以降向けのO住宅の2タイプに分類する。Y住宅購入後一定の期間において、値段の半分を下取り額として保証する為、O住宅購入時新たに支払う必要はない。また「デザイン+性能」で中古住宅市場においても高価値を保てるようにするのも目的としている。



講 評

この発表作品は、作品と言うよりも家の求め方の研究論文である。人のライフステージを大きく2つに分け「若い世代」と「60歳以降の時代」とし、それぞれの時代に合ったライフスタイルの家をどう求めるか、言い替えると如何に経済的又はローコストで質の高い家の求め方を研究している。一般の建築系の学生との視点と考え方、方向性の違いが大変おもしろい。

研究者の提案する手法は「建物(家)の下取り制」である。始めに求める家(若い世代)の下取りを前提に次の家(60歳以降の時代)の購入を担保とすること。これは車の買い取り制からヒントを得たということだが、サイクルの長い建物で25年も先の下取り制を1つのシステムにまとめるには、下取り担保保証する不動産業者の問題もあり長寿命の建物を保証するには建築業界の品質保証の問題もある。建築を取り巻く様々な業界の新しい発想やコンセンサスが必要となり今後のテーマである。建築とは創るだけではなく、どう供給するかというのも非常に大切なテーマだと改めて気づかされる研究でした。

[審査員 大岩 義充]